

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第1回 LLW埋設後管理分科会 (F14SC) 議事録

1. 日時 2007年5月30日(水) 12:45~14:10
2. 場所 日本原燃(株) 東京事務所 第一会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 新堀(主査), 山本(副主査), 吉原(幹事), 川上, 小川, 吉森, 金子,
西谷, 小藪, 平井, 後藤, 今村(議事5(2)の途中より), 山本, 武内,
白石(15名)
(常時参加者) 岡本, 木村, 伊達, 東, 牧野, 本山, 村上, 五十嵐, 田辺, 平川, 枝松,
野上(12名)
(事務局) 厚
4. 配布資料
F14SC1-1 標準委員会の活動について
F14SC1-2 人事について(常時参加者)
F14SC1-3 (欠番)
F14SC1-4 LLW埋設施設埋戻し後管理標準策定の基本方針及び構成案等
F14SC1-5 標準策定における事業者ニーズについて
F14SC1-6 分科会審議スケジュール(案)
F14SC1-7 分科会の名称候補リスト

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、委員 21 名中、開始時点で 14 名の出席があり、決議に必要な委員数（14 名以上）を満足している旨の報告があった。また、委員の自己紹介があった。

(2) 標準委員会の活動について

事務局より、F14SC1-1 に沿って、標準委員会の組織図、活動状況、関連規約、分科会決議から発行までのスケジュールについて説明があった。

(3) 人事について

a. 主査の互選

事務局より主査の選任方法の説明の後、出席委員（15 名）による主査選任の無記名投票が行われ、新堀委員 14 票、川上委員 1 票により、新堀委員が主査に選出された。（委員総数の過半数以上（12 票以上）で選出）

b. 副主査の指名

主査より、山本委員が副主査に指名された。

c. 幹事の指名

主査と副主査の協議により、吉原委員が幹事に指名された。

d. 分科会代表者の選任

主査が分科会代表者に選任された。

e. 常時参加者登録の承認

事務局より、F14SC1-2 に沿って、常時参加者登録希望の 16 名の紹介があり、決議の結果、全員の常時参加者登録が承認された。

(4) 標準策定の基本方針及び構成案等

F14SC1-4 に沿って、標準策定の基本方針及び構成案等の説明があり、下記のような議論があり、今後の議論を踏まえ見直しを図っていくこととなった。

主な議論：

- ・ 構成案は、現行 L2 施設構成に特化されたような内容。施設をイメージするにはよいが、今後、将来施設の構成なども考え項目見直しが必要。
→ 構成案に「埋め戻し後管理」という言葉が出てこない。また、『土壌』との表現があるが、『埋め戻し材』等に見直した方がよい。

- 本構成を基本とし、柔軟に変えていくという位置付けと理解。分科会名称が決まるので、これにあわせ内容を見直していくこと。
- ・ サイト開放基準まで踏み込むのか。
 - 管理期間終了の条件を検討する，ということで，サイト開放基準とは同一でないと認識している。
- ・ 「埋め戻し」「埋め戻し後管理」という用語は定義付けが必要。
 - 用語の定義を検討する中で整理する。

(5) 標準策定における事業者ニーズについて

F14SC1-5 に沿って，事業者側のニーズの説明があった。特に質疑はなかった。

(6) 分科会審議スケジュールの提案

F14SC1-6 に沿って，今後の分科会審議スケジュールの提案があり，当面の目標スケジュールとして進めていき，適宜見直していくことが確認された。

主な議論：

- ・ 至近に LLW 埋設処分の安全審査指針および技術基準の見直しが計画されている。これを受けて多少の方向修正が発生するものと思われる。
- ・ L1 をどこまで議論するか。二部構成とし，L2/L3 標準を1年目に仕上げ，2年目にL1を議論してはいかかがか。L1は埋め戻しまでの期間が長く，不確定な条件が多い。
 - L1では埋め戻し方法が施設成立性に効いてくる。現時点でどの程度の技術が達成可能と思えるのか，本標準にて整理するべきである。
 - 1年後の中間報告にてL2/L3を仕上げることを当面の目標とし，この段階での検討状況なども見ながらL1の纏め方を考える，ということとしたい。

(7) 本分科会名称について

F14SC1-6 に沿って，本分科会の名称案の提案があり，審議の結果，『LLW埋設後管理分科会』とすることとした。

主な議論：

- ・ 他分科会名を参考に，略称とするのがよいのでは。例えばLLW段階管理など。
- ・ 操業段階よりも，操業終了以降の管理段階に重きを置いた内容であり，『埋設後』を入れた方がよいのでは。

6. 今後の予定

第2回分科会は9月度に開催予定。日時は別途調整・連絡することとした。

以 上